

2022年

5月

No.217

県病ニュース春号

【理念】 奉仕・信頼・進歩

当院は敷地内全面禁煙です。

ウィズコロナと病院のこれから



院長 藤 昌 司
と う し ょ う し
さ 藤 昌 司
と う し ょ う し

大分県内で最初の新型コロナウイルス患者確認から2年弱が過ぎました。この文章を書いている今、何とか第6波もピークアウトの様相ですが、一気に低下とはいかず重症者の発生に留意しながら患者数の推移を見守っている毎日です。

当院もさすがに1年以上の「緊張状態」の中で対応しているスタッフの身体的、精神的な疲労は言うまでもなく、その中で院内感染を防ぎつつ何とか乗り切ってきたところですが、残念ながらもうしばらくはコロナに振り回されながらの診療を覚悟せねばなりません。ど

の病院も同じく、心苦しくも外来・入院患者の皆様への面会等を含めた諸種の制限をかけたつとも、患者さんの日常への配慮と精神的な安定を第一に、IT活用やオンライン面会など、なんとかご家族との対話の場を、できるだけ提供できるように工夫しながらの毎日です。コロナ感染症病床の運用、それに連動する一般病床数の調整を図りながら、何とか県の基幹病院として、また急性期病院としての任務を全うできていると思っ

ています。さて、これまでの世界的な感染動向からみて、今後コロナウイルス感染症が「完全に撲滅される可能性は低く、当初から謳われてきた「ウィズコロナ」のあり方を病院として長期的に考えるフェーズに入った感があります。国の分科会なども、「維持可能な合理的かつ効果的で納得感のある感染対策」を旗印に、具体的には引き続きのマスク着用や三密回避等による自己管理とワクチン接種継続計画とともに、新たな変異株の出現や感染の急速な再拡大にも対応できる医療提供体制の確立を目指しています。

この方向性のもと、当院として喫緊の課題として短期的／緊急時の院内診療における柔軟なシフト・連携体制の構築と、その後に中々長期的に必要な人・物・地域連携の動きをシミュレートした準備が必要であり、まさに災害対策、防災危機管理と全く同じ考え方に立った全病的な計画が必要で、当然のことながら、その内容は患者さんの安全とQOLに十分に配慮したものでなければなりません。身体だけでなく、心(精神面)にも気を配った医療が求められていることも強く認識せねばなりません。

今回のコロナウイルス感染症は、上述のような意味でまさに院内、院外の医療体制の功罪を抉り出した出来事とも言えます。一方で、そのコロナ禍の真つ最中に当院は自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞いたしました。このことは、当院全職員にとってたいへん励みになる出来事であり、引き続き病院で起こった諸種の問題点を「走りながら」考え、解決していくべく力を与えてくれました。

まだまだ長い道のりですが、災い転じて福となす、の精神で乗り切っていきたいと考えています。引き続き応援のほど、宜しくお願い申し上げます。

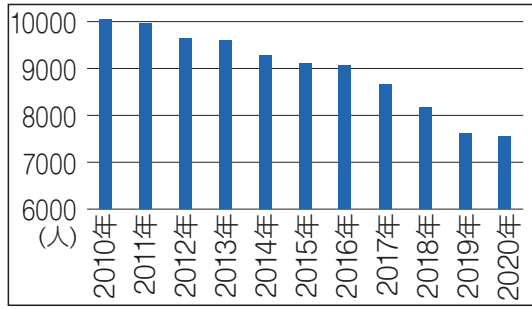
総合周産期母子医療センターの紹介



総合周産期母子医療センター
 所長
 いいだ こういち
 飯田 浩一

日本全体で出生数が減少し少子高齢化が進んでいることは皆さまご存じのことかと思えます。大分県も同様で、図1のように2010年には1万人を越えていた出生数も2020年には7500人余りとなっています。県内には4つの周産期母子医療センターがあります(図2)。妊娠高血圧

図1. 大分県の出生数と出生率の年次推移



や切迫早産などのハイリスク妊婦などはセンターの産科に、低出生体重児や新生児仮死などの治療を必要とする新生児はセンターのNICU(新生児集中治療室)に入院します。北部地域は中津市民病院、東部地域は別府医療センター、中部地域は大分県立病院、南部地域は大分大学病院が主に担当し、お互いに協力しながら大分県の周産期医療を支えています。

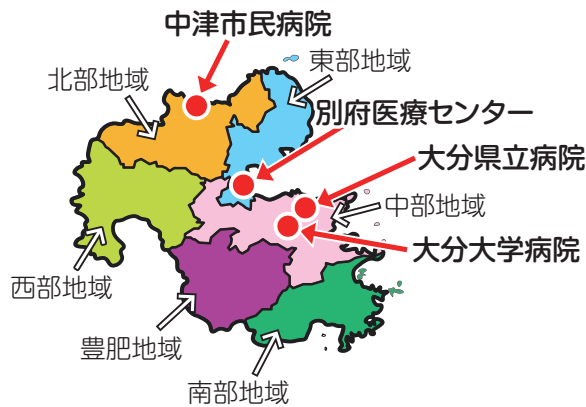


図2. 大分県の周産期母子医療センター

NICU(新生児集中治療室)に入院します。北部地域は中津市民病院、東部地域は別府医療センター、中部地域は大分県立病院、南部地域は大分大学病院が主に担当し、お互いに協力しながら大分県の周産期医療を支えています。

大分県立病院は県内で最も規模の大きい総合周産期母子医療センターです。産科では分娩数は年間500件前後ですが、産科診療所からの外来紹介や救急車での搬送入院(緊急母体搬送)の割合が年々高くなっています(図3)。NICUでは年間350人から400人の入院数ですが、産科に紹介された妊婦さんから出生した児

(母体紹介)やカンガルー号(新生児専用救急車)で迎えに行った児の入院が増えていきます(図4)。大分県の出産の特徴は、産科診療所での出産が多いという点です。大分県では産科診療所での出産が8割に上ります。その分、産科診療所で生まれたのちに入院が必要となる新生児も多く、年間100人前後の新生児をカンガルー号でお迎えに行っています。

一時期、NICUが足りないということが全国ニュースで何度も流れました。妊産婦のたらいまわしという言葉がテレビで語られ、残念ながら亡くなった方もいました。そういう時期でも大分県では大分県で出産された方はすべて大分県内で受け入れ、治療を必要とする新生児もすべて県内の周産期センターに入院できました。これも、各周産期センターと大分県の保健福祉行政との連携がうまくいっている証と考えます。産科診療所での出産が多いという大分県の特徴の中で、必要なMFICU(母体胎児治療室)病床数とNICU病床数を整備し、それを各地域に配して活用することでうまく運営できています。

これからも大分県の周産期医療を守るために、各周産期センター、産科

診療所と保健福祉行政がより一層協力しながら頑張っていきたいと思えます。

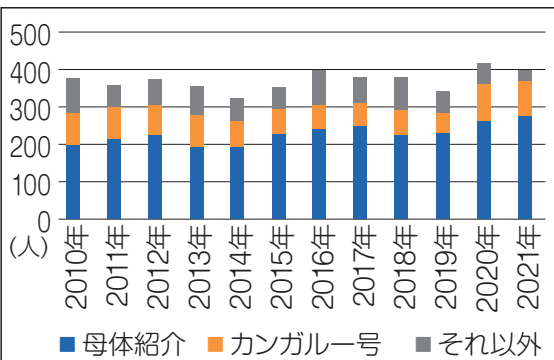


図4. NICUの入院数の年次推移

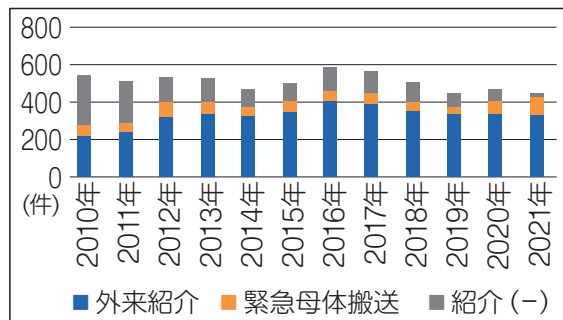


図3. 産科の分娩数の年次推移

循環器センターの協力体制



循環器センター所長兼
心臓血管外科部長
やまだ たかふみ
山田 卓史



循環器センター副所長兼
循環器内科部長
むらまつ こうへい
村松 浩平

我が国は高齢化社会を迎え、循環器疾患の有病率・死亡率が著しく増加してきています。こうした状況の下、循環器疾患を診療科の枠を超えて総合的に治療できるハートチームの重要性が強調されつつあります。当院は2015年4月に循環器センターを立ち上げました。

当院の循環器センターの特徴は、循環器内科と心臓血管外科のみならず、内分泌・代謝内科、腎臓内科、膠原病・リウマチ内科、放射線科、形成外科から構成され、さらに、救急救命センター、麻酔科、臨床工学部門、リハビリ部門などもメンバー

に加え、虚血性心疾患、不整脈、心不全、大動脈疾患、末梢血管疾患、心臓リハビリテーションなど循環器領域全般とその予防や合併症に至るまで、ハイブリッド治療をはじめ、高度専門医療を協力して提供しています。

循環器内科と心臓血管外科は、週1回の合同カンファレンスで、最適の治療方針を検討するばかりで無く、必要に応じて、その都度直ちに、コンサルトが出来る状態にあります。

糖尿病の患者さんは、心臓や血管の病気を高い確率で併発するため、心血管病の予防のためには糖尿病のコントロールが非常に重要です。心腎連関と言い、心臓病と腎臓病は密接な関係があり、心臓が悪くなると腎臓も悪くなり、同様に腎臓が悪くなると心臓も悪くなります。また、血液透析が必要な患者さんは、まず透析に必要なシャント手術を心臓血管外科で行い、その後、腎臓内科で透析を導入します。膠原病は、血管病を合併する事も多く、血管治療を必要とする事も希ではありません。当院では、7東病棟は、循環器内科、心臓血管外科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、膠原病・リウマチ内科からなる混合病棟で、互いに緊密

な連携を取りながら診療を行っています。

腹部臓器の血管内治療や、頸動脈狭窄・脳梗塞・脳動脈瘤の血管内治療は、放射線科が行っています。

足の血管の治療は、血管内治療は循環器内科が、バイパス手術は心臓血管外科が行いますが、足の血管の病気はしばしば皮膚潰瘍を伴います（特に糖尿病の患者さんに多く見られます）。その場合、形成外科が中心となって、フットケアと呼ばれる皮膚病変の管理を行います。

急性心筋梗塞や重症心不全などの救急重症患者の初期対応は救命救急センターが受持ちますので、救命救急センター医師との毎朝のカンファレンスで診療方針を決めています。

心臓血管外科の手術後は、麻酔科医師がICUで管理しますので、麻酔科医師との毎朝のカンファレンスで診療方針を決めています。

このように、当院の循環器センターは広い分野にわたり、専門的かつ総合的に患者さんを診療できるのが特徴です。また、予期せぬ合併症が起きても、全ての専門内科と専門外科があり、盤石の対応が出来ます。



薬の保管方法

薬の保管はどのようにされていますか?暑い夏場に、自動車の中に置きっぱなしにしていないでしょうか?食品と同様に、薬も正しく保管されないと効果が弱まったり、誤飲の原因となったりします。今回は、薬の正しい保管方法について紹介します。



◆子供の手の届かないところ

子供の誤飲を防ぐために、子供の手が届きにくいところに置きましょう。

◆湿気、日光、高温を避ける

薬は湿気や光、熱の影響を受けやすいです。直射日光を避け、高温多湿にならない場所で保管してください。自動車内など高温になる環境に長時間置かないでください。また、冷蔵庫で保管するよう指示された薬は、凍らせないように注意しましょう。冷気の吹き出し口付近は薬が凍る可能性があるため、ドアポケットのような冷気の吹き出し口から離れた場所に保管してください。

◆薬以外のものと区別する

誤って使用しないよう、殺虫剤や防虫剤、農薬などと一緒に保管しないでください。

◆他の薬袋に入れ替えない

薬袋には、正しく薬を服用するために用法用量が記載されています。他の薬袋に入れ替えると薬の種類や使い方が分からなくなり、誤使用の原因となります。



SPP(皮膚組織灌流圧)の紹介

～SPPで何がわかるの?～

SPP(Skin Perfusion Pressure)とは、腕で血圧を測定するときのように足先や足首等にカフを巻き、皮膚の小さな血管の血流の圧をセンサーで測定し、手足や指先の皮膚にきちんと血液が行き渡っているかを調べる検査です。

手足の血管が細くなることで、末端まで血液が行かなくなると、歩く時に足が痛くなったり、しびれが出たり、むくみがでたりします。

この検査は、治療が必要な場所の特定を行ったり、治療方針を決めるための指標となります。検査はベッドに仰向けで寝てもらい、測定部位にもよりますが、30分から1時間程度安静にもらう検査となります。



看護部だより

精神医療センター開設後の1年半をふりかえって

令和2年10月に精神医療センターが開設され1年半が経過しました。

24時間365日、他施設では対応困難な精神科急性期患者さんや身体合併症患者さんに対して、身体科と一体となって短期・集中的に治療・看護を行っています。

昨年の精神科急性期患者さんの受け入れ数は、措置入院患者さんが7人(県内の24%)緊急措置入院患者さんは42人(県内の69%)でした。月平均在院日数は30.4日で、精神科救急対応の役割を果たせていると考えています。

精神症状が悪化した患者さんの安全・安心を最優先に考え、また、倫理的視点を持ち、医師・看護師・精神保健福祉士等と毎日、多職種カンファレンスを開き、患者さんの情報共有と対応の検討を行っています。誤嚥リスクの高い高齢患者さんも多く入院していることから、摂食嚥下チームとの協働もかせません。

若葉の香りが漂うこの時期、新しい環境で体調を整えることに苦労している方も多いかと思います。心身の調子が悪い時は、ご家族やご友人、職場の方に相談してください。回復が難しいときは受診をお勧めします。当精神科外来は新規の外来患者さんの受け入れを行っておりませんが、ホームページ上から県内精神科病院と診療所の連絡先にアクセスできるようになっています。ご利用ください。

これからも県民のみなさまの「こころ」に寄り添い精神科救急医療機関として安全・安心を届けます。

(精神医療センター 副部長兼看護師長 佐藤真由美)

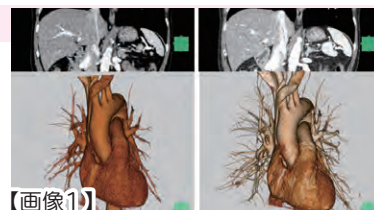
放射線技術部だより

CT 検査の最新技術の紹介 ～ SDual Energy CT ～

従来のCT検査では、1つの管電圧(通常120kVp)で撮影を行っていました。今回紹介するDual Energy CTは、管電圧の異なる2種類のX線で撮影する技術で、2種類のX線のデータがあることで、次に挙げるような様々な画像や情報を得ることができます。

① 仮想単色光画像

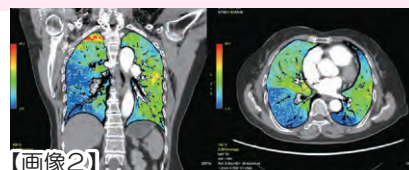
Dual Energy CTは、40～140keVまでさまざまにエネルギー値を変えてCT画像を作成できます。低エネルギーのCT画像は、コントラスト分解能が向上して造影効果が増強するため、投与する造影剤量を低減できます。とくに腎臓の機能が悪い患者さんに有用です。(画像1)一方、高エネルギーのCT画像は、金属から出る余分な雑音(アーチファクト)が低減できるため、きれいな画像を得ることができます。



【画像1】少量の造影剤で撮影しても、低エネルギー画像を作成することで造影剤の効果を増強できます。

② 物質密度画像

物質密度を算出することにより、脂肪、水、ヨード造影剤、カルシウムなど特定の物質を描出した画像を構成することができます。ヨード造影剤と水を弁別してヨード造影剤を強調した画像を作成することで、微量の出血や臓器の虚血を観察しやすくなります(画像2)。



【画像2】肺の造影剤の分布をカラー表示しています。青く表示されたところが、血栓により血流が少なくなった領域です。

放射線技術部では、今回紹介したDual Energy CTを活用して、より正確な診断をアシストできる画像を提供しています。

(放射線技術部 主任 西嶋康二郎)

極端な糖質制限に「待った！」

～生活習慣病予防シリーズ<その2>～



「血糖値が高いので、ごはんは食べていません。」患者さんからよく聞かれる発言です。確かに、「糖質制限」は食後血糖値の上昇をおさえ、かつ、肥満者においては体重減少効果もあることがわかっています。しかし、誤ったやり方や長期間糖質制限を続けていると、思わぬ弊害を招きますので注意が必要です。

上述のような「主食だけ減らす、食べない」方法は、お腹が減るので必然的におかず(肉、魚、卵などのたんぱく質や脂質)の量が増えます。おかずは味付けをしていますので、食塩摂取量も増えます。すると、どういった影響があるのでしょうか。

- たんぱく質、食塩の過剰摂取により腎機能が悪化することがあります。
- 高血圧やコレステロール値上昇により動脈硬化が進行することがあります。
- インスリンを導入している場合は、低血糖をおこすことがあります。



以上のように、極端な糖質制限にはリスクが伴いますので、くれぐれも主食を減らしすぎて、栄養バランスが崩れないようにしましょう。

当院では、月曜日から金曜日までの毎日、個別栄養相談を承っています。ご自分の食事療法が適切か、気になる方は主治医を通して管理栄養士にご相談ください。

(栄養管理部 管理栄養士 稲垣孝江)

自治体立優良病院総務大臣表彰を受彰しました

『自治体立優良病院総務大臣表彰』は、毎年1回実施されています(昭和61年度に設けられ、令和3年度は35回目です)。

被表彰病院は、全国自治体病院開設者協議会会長及び全国自治体病院協議会会長から推薦のあった病院で、累積欠損金がなく、過去5力年(平成27年度～令和元年度)以上経常利益を計上しているものについて、経営の健全性、経営努力の状況及び地域医療に果たしている役割を総合的に判断し、決定されました。

今後とも、地域の医療機関や患者のみなさんに選んでいただける病院となってよい経営ができるよう、好循環を生む取り組みを続けていき県民医療の基幹病院としての努めを果たします。



2021年10月5日 県庁を訪問し、知事に受彰を報告しました。

医療ネットワーク

『医療相談室』

お気軽にお立ち寄りください。

医療ソーシャルワーカー等が、個室でお話を伺います(秘密厳守)

こんなときに!!

- ◎治療、療養上の生活
- ◎医療費のお支払い等の経済的な問題
- ◎医療費の公費助成その他の福祉制度の活用



上記のほか、治療にあたってのさまざまなお困りごと



※がんの検査、治療、仕事との両立など、がんに関するご相談は「**がん相談支援センター**」の担当看護師・医療ソーシャルワーカーがお受けします。



患者総合支援センター

入院受付
入退院説明
医療福祉相談
がん相談支援センター

医療相談室は、正面出入口から入ってすぐ左「⑦患者総合支援センター」内にあります。



外来診療一覽表

注) 診療日が変更になる場合もありますので、予めご了承ください。
(令和4年4月1日現在)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
循環器内科		○	○	○	○	○
内分泌・代謝内科		○	○	○	○	○
消化器内科		○	○	○	○	○
腎臓内科		○	○	○	○	○
膠原病・ リウマチ内科		○	休診	○	○	○
呼吸器内科	新患 再来	○	○	○	○	○
呼吸器腫瘍 内科	新患 再来	○	○	休診 ○	○	○
血液内科		○	○	○	○	○
神経内科		○	○	○	○	○
外科	消化器 乳腺	○	○	○	○	○
脳神経外科		手術日 休診	○	○	○	手術日 休診
呼吸器外科		手術日 休診	○	手術日 休診	○	○
心臓血管外科		○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
整形外科		○	○	○	○	○
形成外科		手術日 休診	手術日 予約のみ	○	○	○
眼科		○	手術日 予約のみ	○	手術日 予約のみ	○

診療科	曜日	月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科		○	○	手術日 休診	○	手術日 休診
婦人科	新患 再来	○	手術日 休診 ○	○	手術日 休診 ○	○
産科		○	○	○	○	○
小児科		○	○	○	○	○
新生児科		○	○	○	○	○
小児外科		○	○	○	手術日 休診	○
内視鏡科	消化管 気管支	○ 休診	○	○ 休診	○	○ 休診
皮膚科		○	手術日 検査日 休診	○	手術日 検査日 休診	○
泌尿器科	新患 再来	○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
精神科		○ 予約のみ	○ 予約のみ	○ 予約のみ	○ 予約のみ	○ 予約のみ
緩和ケア外来		○ 15時 から	休診	休診	休診	休診
放射線科		○	○	○	○	○
歯科口腔外科		休診	○ 予約のみ	休診	○ 予約のみ	○ 予約のみ
外来化学療法室		○	○	○	○	○
診療科の判断が 困難な場合の 担当診療科		消化器 内科	1・3・5週 内分泌・ 代謝内科	呼吸器 内科	神経 内科	血液 内科

アクセス

オアシスひろば
三芳
大分IC
大分駅
南大分駅
大分県立病院

JR: 大分駅からタクシーで約15分または
南大分駅からタクシーで約8分
バス: 大分駅前バス停からバス・徒歩を含めて約25分
(大分市内中心部から約25分間隔で運行)
駐車場: 有料駐車場(約400台)完備(1時間まで無料)

受付時間 午前8時～午前11時

救急患者は24時間受入

紹介による受診に関する事は…
地域医療連携室
平日(土・日・祝日除く)
午前8時15分～午後5時(受付は11時まで)
TEL 097-546-7129
FAX 097-546-7368

診療開始時間 午前8時30分

休診日 土・日・祝日・年末年始
(12月29日～1月3日)

療養中の心配事や不安などは…
患者総合支援センター
平日(土・日・祝日除く)
午前8時30分～午後5時
TEL 097-546-7125

Oita Prefectural Hospital
大分県立病院

〒870-8511 大分市豊饒2丁目8番1号

TEL 097-546-7111～2(代表) FAX 097-546-0725 総務経営課広報係

E-mail a80200@pref.oita.lg.jp ホームページ <https://www.oitapref-hosp.jp/>

※当ニュースへのご意見・ご感想は1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。

